

日本小児科学会こどもの生活環境改善委員会

Injury Alert (傷害注意速報)

No.23 イヤホンのパーツによる食道異物

事 例	年齢：9 か月 性：男	
傷害の種類	誤飲	
原因対象物	イヤホン	
臨床診断名	食道異物	
発 生 状 況	発生場所	実家
	周囲の人・状況	詳しい状況は不明
	発生時刻	2011年4月24日 午後7時頃
	発生時の詳しい様子 と経緯	夕方、嘔吐があり、家人は調子が悪いのかなと思っていた。イヤホンのゴムを兎が持っていることに祖母が気づき、部屋を見たところイヤホンが破損していた。部品がないところがあり、誤飲の可能性を心配して近医を受診した。
治療経過と予後	当院を紹介されて受診した。前医を受診後、経口摂取はしていない。検査したところ、イヤホンのスピーカーの金具部分を飲み込んで食道異物となっていた。スピーカーの網部分の辺縁は、繊維が引っかかるような細かい凸になっていた。鋭利とはいえないが、このままバルーン・カテーテルで引っ張って取り出すと粘膜部分に引っかかって傷つく恐れがあったが、結局、バルーン・カテーテルで除去することができた。	

【こどもの生活環境改善委員会からのコメント】

1. 生後6か月を過ぎた乳児は、つかんだ物は何でも口に入れ、100% 誤飲するといっても過言ではない。
2. 子どもの生活環境に新しい製品が出回ると、必ず新しい傷害が発生する。
3. イヤホンは子どもの手が届く場所に置かれていることが多いが、誤飲するものとして認識されていない。
4. イヤホンのパーツは、子どもがかじっても外れない構造にする必要がある。



写真1



写真2